

部活動の地域移行に関する取組状況

1 国の最新動向

令和 6 年 12 月 18 日「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」が
中間とりまとめを発表

＜主なポイント＞

項目	内容
名称変更	「地域移行」から「地域展開」へ
改革実行期間の設定	令和 8 ～13 年度（平日含め全地方公共団体が着手）
地方公共団体の推進体制整備	専門部署の設置・コーディネーター配置等を重視
学習指導要領における取扱い	地域クラブと学校の連携を重視（引き続き検討）

2 市の取組状況

（1）移行計画の策定

「豊田市部活動地域移行プラン骨子」に基づき、詳細プラン案を作成

→12 月以降、地域やスポーツ・文化団体、企業、大学等 72 団体へ意見聴取 議題 2

（2）地域指導者の確保

① 休日部活動【265 部】への参加状況

（詳細は別紙参照）

時点	地域指導者数	地域指導者数別の部活動数					
		複数人		1 人		0 人	
6 月	537 人	177 部	67.0%	56 部	21.0%	32 部	12.0%
1 月	657 人	226 部	85.3%	28 部	10.6%	6 部	2.2%

＜補足＞ 平日部活動については令和 7 年度から参加開始

② 豊田市地域指導者人材バンクの運用（令和 7 年 3 月～）

人材登録・管理機能を有する豊田市独自の人材バンクを運用し、適材適所へ人材を派遣

登録者数目標：1,200 人（休日・平日含め必要となる地域指導者数の想定）

登録情報：【基本情報】氏名、生年月日、居住地、職業、連絡先

：【スキル情報】指導可能な種目・地域・日時、資格、経歴等

（3）地域指導者向け研修

企業・大学等と連携し、2 段階の研修内容を企画

① 指導基礎研修【受講必須】（令和 7 年 3 月～）

指導者として参加する前に習得すべき基本知識を学ぶ映像研修

内容：活動理念、安全管理、ハラスメント防止など 9 項目

協力：中京大学（研修項目の検討・講師出演等）

※協議会委員に内容確認を依頼（第 2 回協議会 書面開催）

② 指導力向上研修【受講推奨】

より良い指導が行えるような手法や技術指導方法を学ぶ研修

ア 集合研修【令和7年2月15日開催／参加者40人】

内容：こどもの権利・こどもへの声掛け、AED使用方法、
指導者間での意見交換等



イ 種目別研修

●吹奏楽【集合研修／令和7年3月23日開催予定】

内容：吹奏楽指導のポイント、合奏・指揮の魅力、指導者間での意見交換等
協力：愛知県立芸術大学・愛知県吹奏楽連盟

●野球【映像研修／令和7年4月】

内容：バッティング～インサイドアウトと力の伝え方～
協力：トヨタ自動車硬式野球部

(4) 体制整備

① 地域学校共働本部

「とよた地域クラブ活動」モデル事業の実施（体制構築・新規取組）

対象校：崇化館中、前林中、稲武中（一部旭中）

内 容：ア 部活動事務業務の洗い出し・アウトソーシング検討

イ チーム内連絡アプリの導入

ウ オンライン部活の運用

エ 地域指導者の平日部活動の参加

オ コーディネーター人員の増員

② 市

令和7年度から専門部署を設け、より一層取組を推進

専門部署：魅力創造部（仮）学び体験推進課（市長部局）

所管業務：地域クラブ活動の実施、市民の学びと体験機会の推進

3 令和7年度の主な取組

(1) 人材確保 【予算額：約240,000千円】

① 地域指導者：平日を含めた必要人員数を確保

② コーディネーター：事務作業や相談窓口を担う人材を確保

(2) 施設・運用等の環境整備【予算額：約18,000千円】

① 学校施設のセキュリティシステム更新

② 連絡アプリの導入

③ 謝金支払等一部業務のアウトソーシング検証

④ 地域指導者向け研修の充実

⑤ 運用ガイドラインの策定

⑥ 「とよた地域クラブ活動」の愛称募集

(3) その他【予算額：約800千円】

こども向けスポーツ・文化芸術活動検索サイトの設置

